



KANAGAWA

神奈川県
教育委員会

神奈川県教育委員会

県立高校改革 実施計画（I期）

平成28年1月

「県立高校改革基本計画」で示した重点目標

重点目標1 すべての生徒に自立する力・社会を生き抜く力を育成します

すべての生徒に生涯にわたる基礎となる自ら学び、考え、行動する力等を確実に育成し、自立して学校から社会へ円滑に移行できる力を育みます。

重点目標2 生徒の個性や優れた能力を伸ばす教育に取り組みます

個性や優れた能力を有し、専門性の追求を志す生徒の学習ニーズ等に応えるため、質の高い教育を提供し、リーダー性や自立に必要な高い資質・能力を培います。

重点目標3 共生社会づくりに向けたインクルーシブ教育を推進します

神奈川の支援教育の考え方にに基づき、様々な指導や支援を必要とする生徒へのきめ細かな対応に取り組み、共生社会づくりに向けて意欲や態度、能力を育みます。

重点目標4 学校の教育目標の着実な達成をめざす学校経営に取り組みます

学校評価や第三者評価をいかしながら、校長のリーダーシップの下、学校経営力を向上させるとともに、高い専門性と実践的指導力を備えた教職員を育成します。

重点目標5 地域の新たなコミュニティの核となる学校づくりを進めます

地域との連携・協働による学校づくりを一層推進し、学校が地域コミュニティの核となることや、神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入に取り組みます。

重点目標6 生徒が安全・安心で快適に学べる教育環境の提供に取り組みます

校舎の耐震化やトイレなどの生活環境、授業で使用するパソコン等の機器などの学習環境の整備など、教育環境の整備に取り組みます。

重点目標7 少子化社会における適正な規模等に基づく県立高校の再編・統合に取り組みます

少子化社会の中、集団の学びの場である学校の活性化と質の高い教育の提供をめざし、課程・学科や地域バランス等に応じた規模の適正化と配置に取り組みます。

目次

I 質の高い教育の充実	1
1 重点目標1にかかる具体的な取組み	2
(1) 教育課程の改善	2
(2) 授業力向上の推進	3
(3) プログラミング教育の推進	3
(4) 生徒の英語力向上の推進	4
(5) 歴史・伝統文化教育の推進	4
(6) 学習機会拡大の推進	5
(7) 学習意欲の向上と確かな学力の育成	5
2 重点目標2にかかる具体的な取組み	6
(1) 教育課程の改善[再掲]	6
(2) 科学技術・理数教育の推進	6
(3) グローバル化に対応した先進的な教育の推進	7
(4) 専門教育の推進	8
(5) 国の研究開発にかかる指定事業の活用の推進	8
3 重点目標3にかかる具体的な取組み	9
(1) 教育相談体制の充実	9
(2) インクルーシブ教育の推進	9
II 学校経営力の向上	11
4 重点目標4にかかる具体的な取組み	12
(1) 自律的・組織的な学校経営の充実	12
(2) 県立高校への理解を深める情報提供の推進	12
(3) 教職員の実践的指導力向上の推進	13
5 重点目標5にかかる具体的な取組み	13
(1) 地域協働による学校運営の推進	13
6 重点目標6にかかる具体的な取組み	13
(1) 県立高校の教育環境整備	13
III 再編・統合等の取組み	15
7 重点目標7にかかる具体的な取組み	16
(1) 学校規模の適正化の推進	16
(2) 課程・学科等の改善	16
(3) 県立高校の適正配置	18
資料	30

- 本計画に表記した県立高校については、平成27年度時点の学校名で掲載しました。
また、学校順は、「県立高校改革実施計画(全体)」に示した5つの地域に対応しています。
- この冊子では「全校」「対象校」及び「指定校」を次の意味で使用しています。
「全校」……すべての県立高校を指します。
「対象校」…県立高校のうち当該事業の対象となる高校を指します。
「指定校」…高校改革で取り組むそれぞれの指定事業で、原則として期間を設けて指定された高校を指します。
- 専門学科の学科名については、必要に応じて、高等学校設置基準に基づいた名称を括弧書きで付記しております。

I 質の高い教育の充実

1 重点目標1にかかる具体的な取組み

(1) 教育課程の改善

教育課程の改善

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	教育課程の改善作業 (29年度までに終了)	新しい教育課程の運用 (生徒学力調査を用いた検証)	教育課程の改善作業が完了した学校から順次実施	

生徒学力調査の実施

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	実施(生徒用・学校用の調査結果の配付)			
	各校における調査結果を踏まえた教育課程及び指導の改善			
(参考) 国	高等学校基礎学力 テスト(仮称) 出題例公表予定	(作問検討準備)	(作問検討準備)	高等学校基礎学力 テスト(仮称) 試行実施開始予定

教育課程研究開発校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校 ※	指定・実施	中間成果報告	成果報告・指定終了	新たな指定・実施
		取組検証		

※ I期では次の2つの研究テーマに取り組みます。

「新科目『公共』に係る研究」・「新たな学習評価に係る研究」

指定校(予定)：「新科目『公共』に係る研究」

城郷 新城(横浜北東・川崎地域)

湘南台(横須賀三浦・湘南地域)

上溝(県央・相模原地域)

瀬谷西(横浜南西地域)

伊志田(中・県西地域)

「新たな学習評価に係る研究」

鶴見(横浜北東・川崎地域)

茅ヶ崎北陵(横須賀三浦・湘南地域)

海老名(県央・相模原地域)

光陵(横浜南西地域)

大磯(中・県西地域)

(2) 授業力向上の推進

授業力向上推進重点校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・実施	中間成果報告	成果報告・指定終了	新たな指定・実施
		取組検証		

指定校(予定)：港北(横浜北東・川崎地域) 松陽(横浜南西地域)
 七里ガ浜 藤沢清流(横須賀三浦・湘南地域)
 伊勢原(中・県西地域) 麻溝台(県央・相模原地域)

ICT活用授業研究推進校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・実施	中間成果報告	成果報告・指定終了	新たな指定・実施
		取組検証		

指定校(予定)：生田(横浜北東・川崎地域) 横浜旭陵(横浜南西地域)
 横須賀大津(横須賀三浦・湘南地域) 秦野(中・県西地域)
 上鶴間 城山(県央・相模原地域)

(3) プログラミング教育の推進

プログラミング教育研究推進校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・実施	中間成果報告	成果報告・指定終了	新たな指定・実施
		取組検証		

指定校(予定)：住吉(横浜北東・川崎地域) 横浜緑ヶ丘(横浜南西地域)
 茅ヶ崎西浜(横須賀三浦・湘南地域) 西湘(中・県西地域)
 相模原総合(県央・相模原地域)

(4) 生徒の英語力向上の推進

英語資格・検定試験の活用

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	英語資格・検定試験の活用			

生徒海外留学支援の実施

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	生徒の海外留学支援の実施			

(5) 歴史・伝統文化教育の推進

逆さま歴史教育にかかる研究校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・実践研究*	検証改善・指定終了		
	中間成果報告	指導事例集の作成	成果普及・全校での活用	

指定校(予定)：神奈川工業(横浜北東・川崎地域) 舞岡(横浜南西地域)
 津久井浜(横須賀三浦・湘南地域) 秦野首屋(中・県西地域)
 大和南(県央・相模原地域)

※ 30年度からの各学校での活用に資するため、開発した教材の検証・改善を含め2か年の実践研究で実施

(6) 学習機会拡大の推進

県立高校生学習活動コンソーシアムの形成

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
県教育委員会	大学・企業など関係機関との協定によるコンソーシアム形成	コンソーシアムの活用	コンソーシアムの拡大	

県立高校生学習活動コンソーシアムモデル地域の指定

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
県教育委員会	地域の指定 教育プログラムの開発 関係機関との調整	教育プログラムの試行・改善	実施	
			プログラム活用例の紹介	

指定地域(予定)：(2地域) 横浜北東・川崎地域 県央・相模原地域

県立高校単位互換システムの構築

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	システム運用準備	システムの試行・改善	実施	
			システム活用例の紹介	

(7) 学習意欲の向上と確かな学力の育成

確かな学力育成推進校の指定

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・実施	中間成果報告	成果報告・指定終了	新たな指定・実施
		取組検証		

指定校(予定)：菅(横浜北東・川崎地域) 永谷(横浜南西地域)
寒川(横須賀三浦・湘南地域) 平塚湘風(中・県西地域)
津久井(県央・相模原地域)

定時制・通信制教育の推進

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	プロジェクトチームの発足による校内授業研究の実施			
	教材開発と活用	検証・改善		
	キャリア教育・学習支援の充実			
	研究協議会の発足	成果の普及		

2 重点目標2にかかる具体的な取組み

(1) 教育課程の改善 [再掲]

学力向上進学重点校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
エントリー校 (指定校*)	エントリー校の指定	実施 指標に基づく検証	新たな指定・実施(3か年)	

エントリー校(予定)： 横浜翠嵐 川和 多摩 柏陽 光陵 横浜平沼
 希望ヶ丘 横浜緑ヶ丘 横須賀 鎌倉
 湘南 茅ヶ崎北陵 平塚江南 小田原 厚木
 大和 相模原

※ 28年度にエントリーした学校を2か年にわたってエントリー校として指定。その成果を指標に基づいて検証し、30年度に新たな学力向上進学重点校を指定

(2) 科学技術・理数教育の推進

理数教育推進校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・実施	中間成果報告	成果報告・指定終了	新たな指定・実施
		取組検証		

指定校(予定)： 多摩(横浜北東・川崎地域) 希望ヶ丘(横浜南西地域)
 横須賀(横須賀三浦・湘南地域) 平塚江南(中・県西地域)
 相模原(県央・相模原地域)

(3) グローバル化に対応した先進的な教育の推進

グローバル教育研究推進校の指定

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・実施	中間成果報告	成果報告・指定終了	新たな指定・実施
		取組検証		

指定校(予定)：神奈川総合(横浜北東・川崎地域) 横浜平沼(横浜南西地域)
 横須賀明光 鎌倉(横須賀三浦・湘南地域)
 小田原(中・県西地域) 大和西(県央・相模原地域)

国際バカロレア認定推進校の指定

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定・認定申請検討	候補校申請手続き	候補校認定	認定校申請手続き 認定校決定
	入学者選抜方法の検討	検査問題の作成	入学者選抜の実施	1期生入学
	教育課程の検討	編成・運用	実施	
			環境設備の整備	

指定校(予定)：横浜国際

英語教員の海外研修の実施

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	英語教員の海外研修の実施			
	研修成果の普及			

外国につながるのある生徒への教育機会の提供と学習支援

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	日本語を母語としない生徒の学習支援・進路支援の実施			
	在県外国人等の特別募集の入学者選抜の検証	在県外国人等の入学者選抜特別募集の拡大		

海外帰国生徒特別募集:(7校)

神奈川総合 新城 横浜国際 鶴嶺 西湘 伊志田 弥栄

在県外国人等特別募集:(11校)

鶴見総合 川崎 大師 横浜清陵総合 伊勢原 座間総合 大和南
愛川 相模原青陵 橋本 相模向陽館

※ 下線は新規拡大の対象校(予定)

(4) 専門教育の推進

県立高校生学習活動コンソーシアムの形成[再掲]

[ 県立高校生学習活動コンソーシアムの形成については、5ページ参照]

(5) 国の研究開発にかかる指定事業の活用の推進

国の研究開発にかかる指定事業の積極的な活用

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	スーパーサイエンスハイスクール(S S H) 西湘高校(平成23年度～平成29年度) [*] 厚木高校(平成25年度～平成29年度)			
	スーパーグローバルハイスクール(S G H) 横浜国際高校(平成26年度～平成30年度)			
	新たな国の指定による研究開発の実施			

※ 28～29年度継続予定

3 重点目標3にかかる具体的な取組み

(1) 教育相談体制の充実

教育相談コーディネーター養成の拡充

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
県教育委員会	教育相談コーディネーター養成研修講座の実施			
		研修講座修了者の指名と適正配置		
	高等学校学習支援プランニング研修講座*修了者の活用・調査研究の実施			

※ 支援シートや個別の指導計画の作成等を通じて、個に応じた学習支援をコーディネートする人材を育成するための研修

ソーシャルワークの視点をもった教員の養成

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
県教育委員会	ソーシャルワークの視点をもった教員の養成研修の実施			
	養成研修修了者等の勤務校における教育相談体制の充実			

(2) インクルーシブ教育の推進

インクルーシブ教育に関する学校支援の充実

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
県教育委員会	支援体制の検討・構築	支援体制の活用		
		(インクルーシブ教育実践推進校) 知的障がいのある生徒のアセスメントの実施※		

※ 障がいのある生徒の障がいや行動の特性等を把握するために諸検査を実施し、その結果や教育課題等を含めての総合的な評価を通して学校を支援すること

インクルーシブ教育実践推進校の指定

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
指定校	指定(パイロット校)	1期生入学	2期生入学	3期生入学
	知的障がいのある生徒の受入れ体制整備	実践及び検証(入学者選抜・教育課程・進路支援・連携事業)		
	地域における連携先の中学校*との交流・連携事業の実施			

指定校(パイロット校)(予定)：茅ヶ崎 足柄 厚木西

※ 「みんなの教室」のモデル事業を進める市町村(及び周辺地域)の公立中学校

Ⅱ 学校経営力の向上

4 重点目標4にかかる具体的な取組み

(1) 自律的・組織的な学校経営の充実

学校評価・第三者評価システムの改善・充実

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	新しい学校評価システムの実施			
	学校評価部会(学校運営協議会のもとでの組織)の設置・運営			
県教育委員会	新しい第三者評価システム*の実施			

* 各学校の学校評価の結果等に基づき、第三者による評価を実施

民間人材の活用

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
県教育委員会	新規の民間人材活用の検討及び採用			
	取組検証			

地域協働・地方創生による学校づくり活動支援事業の取組み

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	地域協働・地方創生による学校づくり活動の推進			
	取組検証			

(2) 県立高校への理解を深める情報提供の推進

活力ある魅力にあふれた県立高校の情報発信

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	学校ホームページの充実・学校説明会の開催等			
県教育委員会	県立高校改革にかかるリーフレット・パンフレット等の作成・配布			
	県教育委員会ホームページ等での広報活動の推進			

(3) 教職員の実践的指導力向上の推進

研修効果を測れる、柔軟で効果的な研修体系の構築

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
県教育委員会	研修効果の測定や、柔軟で効果的な研修体系の研究・検討・試行			実施
		研修履歴等の管理システムの検討	システムの構築	システムの運用

5 重点目標5にかかる具体的な取組み

(1) 地域協働による学校運営の推進

神奈川県らしいコミュニティ・スクールの導入

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	学校運営協議会の指定			
	(5校指定)	(25校指定)	(75校指定)	(全校指定)

※ 校数は累計値を示す。

28年度指定校(予定)：岸根(横浜北東・川崎地域) 釜利谷(横浜南西地域)
 逗子(横須賀三浦・湘南地域)
 小田原城北工業(中・県西地域) 愛川(県央・相模原地域)

6 重点目標6にかかる具体的な取組み

(1) 県立高校の教育環境整備

セキュリティを担保したICT環境整備の推進

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	校務用パソコンの活用 グループウェア導入の検討・運用			
	校内ICT環境整備の推進			

実験・実習等にかかる教科教育及び専門教育の環境整備の推進

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	新たな指導内容を踏まえた、実験・実習等にかかる環境整備の推進 計画的に整備された設備・備品等の活用			

耐震化・老朽化対策の推進

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	新たな計画を策定し、総合的な耐震化・老朽化対策工事を推進			

トイレ環境の改善

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	整備手法検討・準備	トイレ改修工事の計画的な推進		

Ⅲ 再編・統合等の取組み

7 重点目標7にかかる具体的な取組み

(1) 学校規模の適正化の推進

学校規模の適正化

個別の学校タイプにおける学校規模の適正化

- クリエイティブスクール、フレキシブルスクール、インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)について

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校		現行の標準規模以上とすることを基本としつつ、それぞれの学校や生徒の実情にも配慮した学級数		
クリエイティブスクール	田奈高校、大楠高校 (1学年6学級規模) 釜利谷高校 (1学年7学級規模)	新設2校を含む5校の学校規模(1学年6学級規模)		
フレキシブルスクール	川崎高校、厚木清南高校(全日制1学年6学級規模)			
インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)	茅ヶ崎高校、足柄高校 厚木西高校 (開設準備)	学校規模(1学年7学級規模)		

〔☞大楠高校にかかる再編・統合については、26ページ参照〕

〔☞クリエイティブスクール設置2校については、18ページ参照〕

〔☞フレキシブルスクールの改編については、19ページ参照〕

〔☞インクルーシブ教育実践推進校については、10ページ参照〕

(2) 課程・学科等の改善

すべての県立高校に共通する教育課程等の改善

単位制高校に共通する教育課程等の改善

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
単位制高校	半期単位認定制(セメスター制)の導入検討・順次導入			

全日制の改善

連携型中高一貫教育校の改善

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	愛川高校 学校運営協議会を活用した地域との協働による学校運営の先導的なモデルづくり			
	光陵高校 中・高連携による新たなカリキュラムの研究開発・中・高・大の連携型教育の検討			

専門学科の改編等(産業教育系の改編等)

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校		学科改編・教育課程改善等に向けた準備	入学者選抜準備	新学科等での教育 1年生
県教育委員会	県産業教育審議会の運営			
	報告	報告	報告	報告
		学科改編・教育課程改善等に向けた支援		

定時制の改善

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	教育課程の改善作業 (29年度までに終了)	新しい教育課程の運用(教育課程の改善作業が完了した学校から順次実施) (生徒学力調査を用いた検証)		
単位制 高校	半期単位認定制(セメスター制)の導入検討・順次導入			

通信制の改善

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	教育課程の改善作業 (29年度までに終了)	新しい教育課程の運用(教育課程の改善作業が完了した学校から順次実施) (生徒学力調査を用いた検証)		
	スクーリングのためのサテライト教室*の開設の検討・整備			

※ 生徒の通学の利便性に配慮して設置し、限定的な日時で実施

(3) 県立高校の適正配置

課程・学科等の改編による適正配置

普通科専門コースの改編等(予定)

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
専門コースでの成果を学校全体の特色とする改編を行う高校	教育課程改善	新しい教育課程の運用 1年生	1・2年生	全学年
	専門コース 29年度入学生の募集停止	2・3年生	3年生	
専門コースを専門学科へ改編し普通科と併置する高校	教育課程改善			
	新学科設置準備 29年度入学生の募集停止	専門学科の併置 1年生	1・2年生	全学年
		2・3年生	3年生	

改編対象校

- 学校全体の特色とする改編を行う高校：(9校)
荏田 生田 横浜南陵 磯子 高浜 西湘 山北 有馬 綾瀬西
- 専門学科へ改編し普通科と併置する高校：(3校)
白山(美術科) 上矢部(美術科) 厚木北(スポーツ科学科)

[☞磯子高校にかかる再編・統合については、25ページ参照]

[☞専門学科へ改編する高校については、22～23ページ参照]

クリエイティブスクールの設置(予定)

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
対象校	クリエイティブスクール設置準備	クリエイティブスクールとしての教育活動 1年生	1・2年生	全学年

設置校

- | | |
|---|---|
| <p>※新設：大井(中・県西地域)
大和東(県央・相模原地域)</p> | <p>※既設：田奈(横浜北東・川崎地域)
釜利谷(横浜南西地域)
大楠(横須賀三浦・湘南地域)</p> |
|---|---|

[☞大楠高校にかかる再編・統合については、26ページ参照]

単位制普通科の改編等(予定)

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
生徒自らが主体的に時間割を組み立てる教育課程を提供する高校(タイプA)	教育課程改善 ・教育課程での系の解消	新しい教育課程の実施		
年次進行型での運用に取り組む高校(タイプB)	教育課程改善 ・教育課程での系の解消 ・年次進行型の導入	新しい教育課程の実施		

対象校

- タイプA：神奈川総合 川崎 厚木清南
- タイプB：横浜旭陵 横浜桜陽 横浜栄 三浦臨海 藤沢清流 平塚湘風
小田原 相模原青陵

[☞相模原青陵高校にかかる再編・統合については、29ページ参照]

フレキシブルスクールの改編(予定)

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
横浜桜陽	教育課程改善 ・教育課程での系の解消 ・年次進行型の導入	年次進行型単位制普通科としての教育課程の展開		

インクルーシブ教育実践推進校の指定[再掲]

インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)(予定)：茅ヶ崎 足柄 厚木西

[☞インクルーシブ教育実践推進校については、10ページ参照]

専門学科の改編(予定)

横浜国際高校

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
横浜国際	学科改編に向けた準備	国際科 1年次生	1・2年次生	全年次生
	国際情報科 29年度入学生の募集停止	2・3年次生	3年次生	

改編内容

- 横浜国際高校を次のとおり改編します。

(改編後) 単位制による全日制の課程 国際科 (国際関係に関する学科)

(改編前) 単位制による全日制の課程 国際情報科 (その他専門教育を施す学科)

- 横浜国際高校は、これまでの外国語によるコミュニケーション能力と情報活用能力の育成に取り組んできた教育を継承・発展させ、県立高校全体のグローバル教育の核となる拠点校をめざします。
- また、国際バカロレア認定推進校として、国際バカロレア認定校をめざして取り組みます。〔☞国際バカロレア認定推進校の取組みについては7ページ参照〕

弥栄高校

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
弥栄	学科改編に向けた準備	普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科 1年次生	1・2年次生	全年次生
	国際科・理数科・芸術科・スポーツ科学科 29年度入学生の募集停止	2・3年次生	3年次生	

改編内容

- 弥栄高校を次のとおり改編します。

(改編後) 単位制による全日制の課程 普通科・音楽科・美術科・

スポーツ科学科 (体育に関する学科)

(改編前) 単位制による全日制の課程 国際科・理数科・芸術科・スポーツ科学科

(芸術科とスポーツ科学科はその他専門教育を施す学科)

- 弥栄高校は、平成28年度入学生までで国際科・理数科・芸術科・スポーツ科学科 (その他専門教育を施す学科) の募集を停止し、平成29年度入学生から普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科 (体育に関する学科) の生徒募集を開始します。なお、国際科・理数科・芸術科については、平成30年度末で学科を閉じます。〔☞弥栄高校にかかる再編・統合については、29ページ参照〕

吉田島総合高校

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
吉田島 総合	学科改編に向けた準備			
		農業科 1年次生	1・2年次生	全年次生
	総合学科(～平成30年度) 29年度入学生の募集停止	2・3年次生	3年次生	生活科学科 1年次生

改編内容

- 吉田島総合高校を次のとおり改編します。

(改編後) 単位制による全日制の課程 農業科・生活科学科 (家庭に関する学科)

(改編前) 単位制による全日制の課程 総合学科

- 吉田島総合高校は、これまで総合学科として取り組んできた農業や生活産業の分野の教育活動を継承・発展させ、農業科に加え、新たに生活科学科の専門学科を併置して改編します。
- 平成29年度入学生の募集を停止し、平成29年度入学生から農業科の新たな募集を開始します。また平成31年度から生活科学科の募集を開始します。

小田原総合ビジネス高校

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
小田原 総合 ビジネス	学科増設に向けた準備	普通科の併置 1年生	1・2年生	全学年

改編内容

- 小田原総合ビジネス高校を次のとおり改編します。

(改編後) 全日制の課程 普通科・総合ビジネス科 (商業に関する学科)

(改編前) 全日制の課程 総合ビジネス科 (商業に関する学科)

- 小田原総合ビジネス高校は、これまでビジネス教育の専門学科として取り組んできた教育活動を継承・発展させ、新たに普通科を併置し、学習や進路の活動について相互の融和を図るとともに、観光など地域産業に根ざしたビジネス教育の充実をめざします。
- 平成29年度入学生から総合ビジネス科に加えて普通科の募集を開始します。

白山高校

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
白山	教育課程改善	美術科の併置		
	新学科設置準備	1年生	1・2年生	全学生
	専門コース募集停止			
	29年度入学生の募集停止	2・3年生	3年生	

改編内容

- 白山高校に次のとおり美術科を設置します。

(改編後) 全日制の課程 普通科・美術科 (美術に関する学科)

(改編前) 全日制の課程 普通科 (美術コース設置)

- 白山高校は、これまで普通科専門コースとして取り組んできた教育活動を継承・発展させ、新たに専門学科として美術科を併置し、学習や進路の活動について普通科と相互の融和を図ります。また、美術科では穴窯による陶芸やグラフィック技術の学習など、美術の専門的な内容を深く学べ、生徒の個性を伸ばす教育をめざします。
- 平成28年度入学生までで美術コースの募集を停止し、平成29年度入学生から美術科の募集を開始します。

上矢部高校

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
上矢部	教育課程改善	美術科の併置		
	新学科設置準備	1年生	1・2年生	全学生
	専門コース募集停止			
	29年度入学生の募集停止	2・3年生	3年生	

改編内容

- 上矢部高校に次のとおり美術科を設置します。

(改編後) 全日制の課程 普通科・美術科 (美術に関する学科)

(改編前) 全日制の課程 普通科 (美術陶芸コース設置)

- 上矢部高校は、これまで普通科専門コースとして取り組んできた教育活動を継承・発展させ、新たに美術科の専門学科を併置し、学習や進路の活動について普通科と相互の融和を図ります。また、美術科として素描・ビジュアルデザイン・陶芸など、美術の専門的な内容を深く学べ、生徒の個性を伸ばす教育をめざします。
- 平成28年度入学生までで美術陶芸コースの募集を停止し、平成29年度入学生から美術科の募集を開始します。

厚木北高校

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
厚木北	教育課程改善	スポーツ科学科の併置		
		1年生	1・2年生	全学生
	新学科設置準備			
	専門コース募集停止 29年度入学生の募集停止	2・3年生	3年生	

改編内容

- 厚木北高校に次のとおりスポーツ科学科を設置します。

(改編後) 全日制的課程 普通科・スポーツ科学科 (体育に関する学科)

(改編前) 全日制的課程 普通科 (スポーツ科学コース設置)

- 厚木北高校は、これまで普通科専門コースとして取り組んできた教育活動を継承・発展させ、新たに専門学科としてスポーツ科学科を併置し、学習や進路の活動について相互の融和を図ります。また、スポーツ科学科としてスポーツにかかる資質・能力の育成や健康保持・増進に向けた科学的な探究など、スポーツの専門的な内容を深く学び、高度な技能の習得を促し、生徒の個性を伸ばす教育をめざします。
- 平成28年度入学生まででスポーツ科学コースの募集を停止し、平成29年度入学生からスポーツ科学科の募集を開始します。

総合学科の改編等(予定)

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
総合学科 高校	教育課程改善	新しい教育課程の実施		
単位制普通科への 改編対象校	学科改編に向けた取組	新しい教育課程の実施		
	総合学科の募集停止 29年度入学生の募集停止	1年次生	1・2年次生	全年次生
専門学科への改編 対象校	総合学科の募集停止 29年度入学生の募集停止	2・3年次生	3年次生	
	学科改編に向けた準備	農業科		
	総合学科(～平成30年度) 29年度入学生の募集停止	1年次生	1・2年次生	全年次生
		2・3年次生	3年次生	生活科学科 1年次生

対象校

●総合学科：

鶴見総合(横浜北東・川崎地域)

麻生総合(横浜北東・川崎地域)

金沢総合(横浜南西地域)

藤沢総合(横須賀三浦・湘南地域)

秦野総合(中・県西地域)

相模原総合(県央・相模原地域)

座間総合(県央・相模原地域)

●単位制普通科への改編：

大師(横浜北東・川崎地域)

横浜緑園総合(横浜南西地域)

横浜清陵総合(横浜南西地域)

●専門学科への改編：

吉田島総合(中・県西地域)

[☞ 吉田島総合高校の学科改編については、21ページ参照]

【学科の改編や新設に伴う対象校への取組み】

- 学科の改編や新設に伴う校名変更については、今後検討します。

再編・統合による適正配置

横浜南西地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：氷取沢高校、磯子高校

※氷取沢高校の敷地、施設を活用

再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度	
氷取沢	統合校設置に向けた準備				平成32年 4月 統合
磯子	統合校設置に向けた準備				
		30年度入学生の募集停止	2・3年生	3年生	
	専門コース 29年度入学生の募集停止	専門コース 2・3年生	専門コース 3年生		

再編・統合の内容

<めざす姿>

- ・ 統合後は、これまで両校が共通して取り組んできた国際教育の成果を踏まえ、英語コミュニケーション能力の向上と姉妹校交流を通じた国際理解教育に取り組みます。
- ・ 地域との協働・連携を一層重視した教育活動を展開し、地域に根ざしつつ国際性豊かな人材の育成に向けた、新たな学校文化の創造をめざす教育に取り組みます。

<再編・統合の進め方>

- ・ 磯子高校は、グローバルコミュニケーションコースの平成29年度入学生の募集を停止します。(平成29年度は2、3年生、平成30年度は3年生が在籍します。)
また、磯子高校全体については、平成30年度以降の入学生の募集は停止します。(平成30年度は2、3年生、平成31年度は3年生が在籍します。これらの生徒は磯子高校で卒業します。)

横須賀三浦・湘南地域における再編・統合 ①(予定)

再編・統合対象校：横須賀明光高校、大楠高校

※横須賀明光高校の敷地、施設を活用

再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科・福祉科

(普通科はクリエイティブスクールとして設置)

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
横須賀明光	福祉科(現行どおり)			1・2年次生は統合校に在籍変更
	統合校設置に向けた準備	国際科 30年度入学生の募集停止	国際科 2・3年次生	国際科 3年次生
大楠	統合校設置に向けた準備			1・2年生は統合校に在籍変更

平成32年
4月
統合

再編・統合の内容

<めざす姿>

- ・ 統合後は、これまで両校が取り組んできた地域とのかかわりを大切にし、普通科(クリエイティブスクール)では学習への意欲を高め、確かな学力の定着をめざす教育に取り組めます。あわせて、生徒の通学の利便性を高めます。また、福祉科では、社会福祉に関する知識と技術を総合的・体験的に学習する教育に取り組めます。
- ・ 学校全体で、これまで横須賀明光高校国際科で培ってきた国際社会の中で生き抜く力を育てる教育活動をいかしつつ、キャリア教育・進路指導を一層重視した教育活動を展開します。
また、地域との協働による学校運営を一層充実させ、生徒一人ひとりの社会的・職業的な自立に向けた資質・能力や態度を身に付ける教育をめざします。

<再編・統合の進め方>

- ・ 横須賀明光高校は、平成30年度以降の国際科の入学生の募集を停止します。(福祉科の募集は継続します。国際科は、平成30年度は2、3年次生、平成31年度は3年次生が在籍します。)
- ・ 大楠高校は、平成31年度までクリエイティブスクールとしての募集を行います。
- ・ 大楠高校は、平成32年度に、統合校に移行します。
大楠高校に入学した生徒で平成32年度以降に卒業する予定の生徒は、平成32年4月から現在の横須賀明光高校の校舎(横須賀市佐原)で学習します。

横須賀三浦・湘南地域における再編・統合 ②(予定)

再編・統合対象校：三浦臨海高校、平塚農業高校初声分校(昼間定時制)

※三浦臨海高校の敷地、施設を活用

※平塚農業高校初声分校の敷地、施設を農業科の
教場として活用

再編・統合後の高校：単位制による全日制の課程 普通科・農業科

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
三浦臨海	統合校設置に向けた準備		統合	農業科 (全日制) 1年次生 (定時制) 2・3年生
平塚農業 初声分校	統合校設置に向けた準備			(定時制) 3年生
		30年度入学生の募集停止		

再編・統合の内容

<めざす姿>

- ・ 統合後は、これまで両校が取り組んできた地域で活躍する人材育成に向けた多様な教育の成果を踏まえ、普通科では単位制普通科による教育活動を行うとともに、農業科では、専門性をいかして地域の主要産業の一つである農業の人材育成の拠点としての教育に取り組めます。
- ・ 地域に根ざした学校として、両学科の特性を連携によりいかすとともに、生徒の多様な進路希望を実現する実習・体験を重視した教育活動を展開し、生徒一人ひとりの個性を伸長する教育をめざします。

<再編・統合の進め方>

- ・ 平塚農業高校初声分校では、平成29年度入学生まで昼間定時制として募集します。(平成30年度以降に卒業する生徒は、統合校で卒業します。)
- ・ 統合後は、定時制での生徒募集を行わず、農業科を全日制として生徒を募集します。

中・県西地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：平塚農業高校(全日制)、平塚商業高校(全日制)
 ※平塚農業高校の敷地、施設を活用
 再編・統合後の高校：全日制的課程 農業科・
 総合ビジネス科 (商業に関する学科)

再編・統合対象校：高浜高校、平塚商業高校(定時制)
 ※高浜高校の敷地、施設を活用
 再編・統合後の高校：全日制的課程 普通科
 単位制による定時制の課程 普通科

I期の工程表(全日制)

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
平塚農業 (全日制)	統合校設置に向けた準備			統合
平塚商業 (全日制)	統合校設置に向けた準備			

再編・統合の内容(全日制)

<めざす姿>

- ・ 統合後は、これまで両校が取り組んできた産業教育の成果を踏まえ、農業科・総合ビジネス科の併置校として、それぞれの産業分野を相互に学ぶなど、新たに、これからの社会に求められる6次産業化などに対応した教育活動を展開し、多様な地域産業を担う人材育成をめざします。

<再編・統合の進め方>

- ・ 平成29年度以降、両校に入学した生徒は、統合校で卒業します。

I期の工程表(定時制)

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
高浜	新課程設置に向けた準備			定時制 新設 総合学科 2～4年次生 普通科1年次生
平塚商業 (定時制)	定時制課程移行に向けた準備		1～3年次生は翌年度 高浜高校に在籍変更	

再編・統合の内容(定時制)

<めざす姿>

- ・ 新たな定時制課程では、生徒の通学の利便性を高めるとともに、生徒の基礎的な学力の定着状況や一人ひとりのニーズに応じた学習内容を提供します。

<再編・統合の進め方>

- ・ 平塚商業高校定時制(総合学科)は、平成31年度に高浜高校に移行します。平塚商業高校定時制に入学した生徒で、高浜高校に移行後卒業する生徒は、高浜高校(単位制定時制)総合学科で卒業します。(平成28年度入学生は、高浜高校で卒業します。)
- ・ 高浜高校定時制について、平成31年度以降の入学生は、単位制による定時制の課程・普通科として募集します。

県央・相模原地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：弥栄高校、相模原青陵高校

※弥栄高校の敷地、施設を活用

再編・統合後の高校：単位制による全日制の課程 普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科

I期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度	
弥栄	統合校設置に向けた準備				平成32年 4月
相模原 青陵	統合校設置に向けた準備				統合
		30年度入学生の募集停止	2・3次年生	3次年生	

再編・統合の内容

<めざす姿>

- ・ 統合後は、これまで両校が同じ地域で単位制による高校教育に取り組んできた成果を踏まえ、普通科では生徒の学習や進路ニーズに対応した外国語や理数の教育を重視した教育活動を行います。個性教育系の音楽・美術・スポーツ科学の各専門学科では、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばす専門教育を推進します。
- ・ また、各学科間の連携を一層重視した教育活動を展開するとともに、外国につながるのある生徒の学びの場としての充実をも図りながら、新たな学校文化の創造をめざす学校づくりに取り組みます。

<再編・統合の進め方>

- ・ 弥栄高校は平成29年度から学科改編を行います。〔☞弥栄高校の学科改編については、20ページ参照〕
- ・ 相模原青陵高校は、平成30年度以降の入学生の募集を停止します。(平成30年度は2、3次生、平成31年度は3次生が在籍します。これらの生徒は相模原青陵高校で卒業します。)
- ・ 相模原青陵高校で行っている在県外国人等特別募集については、統合校に引き継いで取り組むとともに、大学との連携による日本語指導等についても引き継いで推進します。

【再編・統合の対象校への取組み】

- 再編・統合に伴う校名の変更については、今後検討します。
- 両校のこれまでの伝統や教育内容を継承するとともに、資料や記念となる物品等を大切に引き継ぎ、保管や展示に供するスペースの確保と整備に取り組みます。

資料

【資料①】I 期に実施する指定校(予定)等の取組みについて

指定		地域				
		横浜北東・川崎地域	横浜南西地域	横須賀三浦・湘南地域	中・県西地域	県央・相模原地域
教育課程 研究開発校	新科目 「公共」	城郷 新城	瀬谷西	湘南台	伊志田	上溝
	新たな 学習評価	鶴見	光陵	茅ヶ崎北陵	大磯	海老名
授業力向上推進重点校		港北	松陽	七里ガ浜 藤沢清流	伊勢原	麻溝台
I C T利活用授業研究 推進校		生田	横浜旭陵	横須賀大津	秦野	上鶴間 城山
プログラミング教育 研究推進校		住吉	横浜緑ヶ丘	茅ヶ崎西浜	西湘	相模原総合
逆さま歴史教育にかか る研究校		神奈川工業	舞岡	津久井浜	秦野曾屋	大和南
確かな学力育成推進校		菅	永谷	寒川	平塚湘風	津久井
学力向上進学重点校 (エントリー校)		横浜翠嵐 川和 多摩	希望ヶ丘 横浜平沼 光陵 柏陽 横浜緑ヶ丘	横須賀 鎌倉 湘南 茅ヶ崎北陵	平塚江南 小田原	厚木 大和 相模原
理数教育推進校		多摩	希望ヶ丘	横須賀	平塚江南	相模原
グローバル教育研究 推進校		神奈川総合	横浜平沼	横須賀明光 鎌倉	小田原	大和西
国際バカロレア認定 推進校		横浜国際				
インクルーシブ教育 実践推進校 (パイロット校3校)		茅ヶ崎		足柄	厚木西	
コミュニティ・スクール (28年度指定校5校)		岸根	釜利谷	逗子	小田原城北工業	愛川
県立高校生学習活動 コンソーシアムモデル 地域		モデル地域				モデル地域

【資料②】I 期に実施する課程・学科等の改編について(予定)

改革内容	県立高校改革 I 期後	現行
クリエイティブ スクール	大井、大和東 田奈、釜利谷、大楠 [☆]	田奈、釜利谷、大楠
フレキシブル スクール	川崎(全・定)、厚木清南(全・定・通) 〔年次進行型での運用に改編する〕 横浜桜陽(全)	川崎(全・定)、厚木清南(全・定・通) 横浜桜陽(全)
普通科 専門コース	〔解消し、学校全体の特色とする〕 荏田、生田、横浜南陵、磯子 [☆] 、 高浜 [☆] 、西湘、山北、有馬、綾瀬西 〔専門学科に改編する〕 白山、上矢部、厚木北	荏田、生田、横浜南陵、磯子、 高浜、西湘、山北、有馬、綾瀬西 白山、上矢部、厚木北
総合学科	鶴見総合、麻生総合、金沢総合、藤沢 総合、秦野総合(全・定)、座間総合、 相模原総合、磯子工業(定)、向の岡工 業(定)、平塚商業(定) [☆] 、神奈川総合産 業(定) 〔単位制普通科に改編する〕 大師、横浜緑園総合、横浜清陵総合 〔専門学科に改編する〕 吉田島総合	鶴見総合、麻生総合、金沢総合、藤沢 総合、秦野総合(全・定)、座間総合、 相模原総合、磯子工業(定)、向の岡工 業(定)、平塚商業(定)、神奈川総合産業 (定) 大師、横浜緑園総合、横浜清陵総合 吉田島総合
単位制普通科 (除、神奈川総合、 フレキシブル スクール)	大師、横浜緑園総合、横浜桜陽、横浜 清陵総合、弥栄 [☆] 、高浜(定) [☆] 横浜旭陵、横浜栄、三浦臨海 [☆] 、藤沢清流、 平塚湘風、小田原、相模原青陵 [☆] 、湘南 (定)、小田原(定)	横浜旭陵、横浜栄、三浦臨海、藤沢 清流、平塚湘風、小田原、相模原青陵、 湘南(定)、小田原(定)
普通科と専門学 科の併置	白山、上矢部、横須賀明光 [☆] 、三浦臨海 [☆] 、 小田原総合ビジネス、厚木北、弥栄 [☆] 津久井	津久井

太字は新たな対象校、____線は改編等対象校、☆は再編・統合の対象校

新たな専門学科への改編

専門学科への改編	吉田島総合	※総合学科を単位制農業科・生活科学科に改編
専門学科での学科改編	横浜国際	※国際情報科を国際科に改編
	弥栄 [☆]	※芸術科を音楽科と美術科とに改編 スポーツ科学科を「体育に関する学科」に位置づけを変更

☆は再編・統合の対象校

【資料③】I 期に実施する再編・統合等の改編について(予定)

再編・統合		□□□…敷地、施設等活用校	_____下線…教場として活用	※…改革後の課程学科等
氷取沢	磯子			※学年制全日制 普通科
横須賀明光	大楠			※学年制全日制 普通科(クリエイティブスクール)・福祉科
三浦臨海	平塚農業高校初声分校			※単位制全日制 普通科・農業科
平塚農業	平塚商業			※学年制全日制 農業科・総合ビジネス科
高浜	平塚商業(定)			※学年制全日制 普通科、単位制定時制 普通科
弥栄	相模原青陵			※単位制全日制 普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科

県立高校改革
実施計画（Ⅰ期）

平成28年1月発行

発行 神奈川県教育委員会
〒231-8509 神奈川県横浜市中区
日本大通33
電話 (045)210-1111(代表)

印刷 中川印刷株式会社
〒231-0036 神奈川県横浜市中区
山田町7-1
電話 (045)261-2101(代表)



神奈川県

教育委員会 教育局総務室 県立高校改革グループ 電話(045)210-8280(直通)
横浜市中区日本大通33 ㊦231-8509 電話(045)210-1111(代表) 内線8280・8281